

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（久米）中学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から  【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	○国語Aでは、資料を活用して答える問題や文の成分照応の問題は県平均と比べると低いが、漢字や語句の意味に関する問題は高い。 ○国語Bでは文を要約したり文章の展開に即して内容を理解したりする問題は県平均と比べると低いが、自分の考えを具体的に書く問題は高い。 ○数学Aでは、自然数や商などの用語の理解は県平均と比べて低いが、図形や関数分野などの他の分野はかなり高い。 ○数学Bでは理由を説明する問題は県平均と比べて低いが、図形や資料活用能力は高い。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	①「問題データベース」を活用し、課題にあった類似取り上げ授業内や放課後学習で行う。 ② 放課後学習や、家庭学習を活用して、既存事項の復行う。	A	「問題データベース」を全教科で活用し、既存学習の復習、基礎基本の徹底を毎日図る。
①	○毎日の授業の中でどの教科でも協同学習による「学び合い」の時間を設ける。	A	○協同学習を推進するために授業研究中心の校内研修を行い、全員が授業公開をする。（2月末までに）
②	○どの教科でも資料を活用しながら自分の考えを筋道を立てて書いたり表現したりする活動を多く取入れる。 ○どの教科でも授業の終わりに学習のまとめとして授業内容を自分の言葉でまとめる振り返りを行う。	B	○協同学習を推進するために授業研究中心の校内研修を行い、その研修の中で活動を再確認し、授業実践する。（2月末までに）
③	○家庭学習時間確保のため学級委員会の活動を活発化し、自主学習ノートの提出率を向上させる。 ○図書委員会を中心に本の紹介等行い、読書に興味を持つ生徒を増やす。	B	○学級委員会の活動として自主学習ノート提出強化期間を設ける。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			